



# 森ボラ 通信

第 213 号 2020 年 2 月 20 日発行  
NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター  
TEL (fax.): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## ■ 活動報告

### ◆ 1 月冬季セミナーに参加して

1 月 16 日、エルプラザにて会員例会と冬季セミナーが開催されました。出席者は 21 名で、前半の会員例会は講師の樫棒代表幹事より昨年の「活動地の生長調査」について 6 地区の報告がありました。

私は昨年に入会したばかりの新米で、当協会の活動全般についての概略に触れたのは今回が初めてでした。「野良仕事をして汗をかければそれで良い」と考えていた私にとって今回の報告は活動地域の広さに驚くばかりではなく、森林の保全作業内容、科学的視点を取り入れた調査研究の深さ等、予想を遙かに上回っていました。又、その調査も一時的なものではなく、取組み始めから継続的に行われており、身体の汗だけではなく頭の汗も流している活動であることを強く認識しました。昨年、その長年の活動に対して「緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞したのも頷けると思いました。



報告の最後に整理伐について「整理伐(案)」が提案され、会員間で活発な意見交換がありました。具体的な作業内容も何を目的に森林と向き合うかによってその選択は全く違ってくると感じ、今後の議論が楽しみになりました。

後半の冬季セミナーは、森林総合研究所北海道支所生物研究グループ長の石原誠先生から「木が枯れてゆく～今後発生が懸念される樹木病害について」と題する講演がありました。多数のスライドを使ったものでしたが、主にカビ、細菌、ウイルスを原因とする樹木の萎凋障害に関するもので、私にとっては理解するにはアカデミック過ぎました。ただ、樹木と細菌・ウイルスとの相性の話は面白く、外国の樹木・細菌・ウイルスと国内のそれとの相性の話に及んだ時、我々は正にグローバルな時代・世界に生きているのだと改めて思いました。

セミナーの後は「ポレール」で懇親会。やはり私には野良仕事とこれが一番の楽しみ。懇親会関係は皆勤を目指します。(文・高橋 写真・大窪)

### ◀ 森林総研石原誠先生講演会「木が枯れてゆく」(冬季セミナー)の感想 ▶

冒頭に今後のご協力をお願いしたいとお言葉を戴きこれだけでこの勉強会が当協会にとって非常に良かったと感じました。森林ボランティアの会員はアマチュア(その活動から生計を得ていない)であり、プロの方々から指導を受けながら活動を進めることで独善的にならないで済みます。



木は何故枯れるのか、病原体について、線虫、キノコ、カビ、ウイルスの仲間、流行メカニズム、懸念される樹木病害と対策について学びましたが理解できたのは半分くらいかなと思いました。特に北方の森林の凍害の傷からの感

染、雪腐れなど興味深いお話がありました。またアジア起源の樹木の病気が欧米で猛威をふるいアメリカ栗は絶滅の危機にあり Ash セイヨウトネリコの枯死が問題となっていると報告されました。

先生には昨秋澄川環境林の E-5, 6, 7 区に来てヤマグリ、エゾヤマザクラの胴枯れとシラカンバの剥皮ドロボーを見ていただき、クリは胴枯れ病の疑いがある旨今回お話を戴きました。先生はイヌエンジュの樹病にも関心をお持ちとのこと、D 地区にたくさん枯れており是非研究テーマにされるよう希望いたします。(文・酒井)

## ◆ 澄川南小学校3年生が冬芽観察とマイツリーの生長調査

1月23日(木曜日)は朝から青空が広がりとても暖かな子供達が活動するにはもってこいの日和でした。この日、澄川南小学校の3年生64名と先生3名が澄川の冬の森へやってきました。子供達はスノーシューを履くのが初めてで相当てこずった様で、少々時間がかかりました。

昨年7月に選定したマイツリーの場所にやってきた子供達は、先ず4班に別れて冬芽の勉強をしました。アカエゾマツは酒井さん、ミズナラは清澤さん、キタコブシは三橋さん、ホオノキは西野(澄)が担当し、それぞれ約5分間の説明をしました。その後、選定したマイツリーが冬はどんな様子なのか観察し、周長を測ったり写真を撮ったりしました。

スタートで時間が掛ったために帰りの時間が迫ってしまい、午前中の授業だったので昼の給食の時間に遅れてしまったのではと心配しながら森を後にする子供達を見送りました。(文・西野澄子)



## ◆ 2月会員例会&冬季セミナー報告

会員例会：2020年度親子森林教室の実施計画を説明

冬季セミナー：第4次 札幌市みどりの基本計画(案)を聴く

2月13日(木)、Lプラザにおいて今季3回目の会員例会と冬季セミナーが開催され、協会員22名が参加して研鑽を深めました。

前半の会員例会では、2020年度親子森林教室・森しり隊の参加状況、活動内容の前年度からの変更点、説明担当者などの実施計画を森しり隊事務局より説明しました。現時点での参加状況は今年度から継続する子どもが3人に、新たに9人の子どもたちが加わって12名の予定です。また、活動内容では、12月のセミナーで北海道森林インストラクター会副会長の工藤森生さんからいただいた助言(ボラ通212号)に森しり隊事務局がまとめた今年度の反省点・課題を踏まえて、活動項目の一部を見直し、継続する活動項目でも進め方の工夫を加えることにしました。特に、森の木でエンピツを作る



工作を新規に取り組むことや今年度好評だった夜の森のコウモリ観察を継続すること、これまでは



簡単に終わっていた植樹や下草刈りは十分な時間を確保して親子協働作業として取り組んでもらう内容となっています。

親子森林教室は、これまでの4年間に参加した子どもたちは延べ51名となり、保護者や協会員を含めると総参加者は延べ1,000名に及ぶ森ボラの主要な活動の一つとなっています。第5期となる2020年度も4月5日の開校式からスタートしますが、子どもたちが四季を通じて澄川の森で様々な育林体験を十分に行い所期の目的が達成されるよう協会員の皆さんの理解と協力を引き続きよろしくお願いします。

幕間にドローンによる澄川北地区の空撮動画を観賞した後に冬季セミナーに入り、札幌市の建設局みどりの推進部みどりの推進課から来られた仁宮課長と大友係長から、札幌市が現在策定中の「第4次 札幌市みどりの基本計画（案）」の概要について説明してもらいました。「みどりの基本計画」とは市内の緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定めたもので、札幌市では概ね10年サイクルで策定・見直しているとのこと。今回の策定作業では2017年に審議会を立ち上げて以降、市民アンケートやフォーラム、パブリックコメントを経て、今年14日の最終審議会で答申を受けて計画が策定され、2020年度から計画が施行される見通しと聞きました。

札幌市の“みどり”と言っても、市街地を取り巻く山や森から始まって、公園や街路樹、庭木や農地に及ぶ広範囲なものです。私たちに深く関わるものとしては都市環境林の利活用やその担い手としてのボランティア団体との連携があります。適切な手入れをした都市環境林の面積を現行の4倍に増やすことや、ボランティア活動促進計画を策定すること、森林ボランティア団体と連携して森づくりを進めるなどの目標・施策を目にすると、セミナー最後に佐野さんが質問したように、計画が具体的に動き出す折や中途での評価改善の機会を捉えて行政と同じテーブルに着いてわれわれ活動団体の思いを反映してもらうことが大事だと強く感じました。（文・清澤）

## ■ 澄川の自然 6

### トクサ(砥草) トクサ科

澄川の森では上流橋から北に流れる沢沿いに群生しています。トクサは地下茎で、茎は真直ぐ上に伸び、長さは30～100cm、径は5～7mm位で中空の円柱形です。

表面には鋭い縦の溝がありザラザラしていて堅く、節には黒く見える小さな葉が付いている状態で、濃緑色の茎が直接光合成を行っており、夏に茎頂に長さ6～10mmの胞子のうを付けるそうです。（おもしろ草花の話より）

子供の頃はトクサを束ねてタワシ代わりに使っていて、手が切れた事を思い出します。

（文・西野澄子）



## ■ 図書コーナー

番号	図書名	著者	発行所	本体価格(円)	購入年月
71	『樹に聴く』	清和 研二	(株)築地書房	2,400	2020年1月
72	『図解林業入門』	関岡 東生	家の光協会	1,500	2020年1月

## 新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

- 赤間秀典さん (手稲区西宮の沢) 趣味：釣り、囲碁、旅行、登山  
 山崎 守さん (中央区北6条) 趣味：魚釣り、パソコン、環境保護  
 平 芳男さん (豊平区月寒) 趣味：里山などの自然に興味、音楽  
 松井吉男さん (北区新琴似) 趣味：登山、山スキー、温泉巡り

## ■ 今月の幹事会

出席者：大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・三橋・矢澤・矢野

1. 2020年3,4月スケジュール(3月幹事会:3月6日(金) →3月11日(水)に変更)
2. 2020年1月会計報告:了承
3. 親子森林教室:2/16スケジュール、2020年度参加予定者は12名
4. 森林・山林多面関係: 消耗品購入、人件費は1月末締め切り。報告書提出は2月末
5. 野幌道有林復興支援:融雪後に稚樹発生、食害状況確認。森林整備計画書は原案提出を了解
6. 澄川環境林北地区:年度別活動計画案を確認。
7. 澄川整理伐状況:B-5,7,8区整理伐は87%となり終了。E-7区は直径10cm未満がまだ相当数有
8. 報告～1/28HP 土日参加しませんか！で東京のココ・コーポレーションの長谷川さん参加
9. 現場対応他
  - ・2/13 冬季セミナー講演:札幌市みどりの推進課仁宮課長・大友係長。札幌市みどりの基本計画
  - ・2/14 野幌森林公園再生連絡会:2名(樫棒・大窪)参加予定
  - ・2/20 多面制度説明会・活動事例報告会:3名参加予定(参加希望者は事務局へ連絡)
10. その他
  - ・森ボラHP見直し検討:意見等を3月幹事会までに提出
  - ・新会員加入状況:新入会員4名。その他2名が入会予定
  - ・現場プロジェクトチームの見直し:希望を確認して事務局で検討し、幹事会に報告
  - ・整理伐:対象樹木の選択基準を3月会員例会にて協議
  - ・個人の装備:ナタ・ノコ・ヘルメットは実費負担、スノーシューは貸与

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月16日(木)	札幌エルプラザ	21	冬季セミナー
1月20日(月)	澄川	19	B-5, 7, 8区整理伐
1月23日(木)	澄川	11	B-5, 7, 8区整理伐、澄川南小3年生マイツリー観察
1月25日(土)	澄川	15	B-5, 7, 8区整理伐
1月28日(火)	澄川	20	B-5, 7, 8区整理伐
1月31日(金)	澄川	11	B-7, 8区整理伐
2月3日(月)	澄川	13	B-8, E-7区整理伐(手ノコ使用)
2月5日(水)	澄川	13	E-7区整理伐(手ノコ使用)
2月7日(金)	ラルズ生活研究C	10	幹事会
2月10日(月)	澄川	13	E-7区整理伐(手ノコ使用)
2月13日(木)	札幌エルプラザ	22	冬季セミナー
2月14日(金)	澄川	12	E-7区整理伐(手ノコ使用)